

## 関市立図書館 沿革

昭和22年	4月	本町(現山ノ手1丁目)に関町公民館開設併せて図書室設置 蔵書 1,500冊 ※関尋常高等小学校(現・安桜小学校)に設置されていた「積徳文庫」の蔵書を引き継ぐ
昭和25年	10月	関市市制施行、関市公民館となる
昭和32年	5月	公民館図書 閲覧時間 午前8時～午後4時30分 蔵書 2,800冊
	7月	図書貸出開始 読書会(15名以上、30グループまで)へ
昭和42年	4月	市文化会館(平和通り・41年7月開設)に公民館図書室移転
昭和48年	5月	移動文庫の開設 (各地区のグループへ出張して貸出)
	6月	移動図書館の開設 (桐谷団地集会場、市民会館など)
昭和49年	7月	公民館図書室 蔵書 約8,000冊
昭和50年	5月	移動図書館車「まなび号」購入
昭和53年	8月	文化会館隣接の公民館内に移転して図書館開館 ※桜本町の旧関商工高跡に文化会館オープン
	8月	一般貸出開始(1人4冊、2週間まで)開館時間 午前9時～午後5時 蔵書15,000冊
	9月	図書館条例制定 関市立図書館協議会発足(委員10名)
昭和55年	6月	「図書館だより」第1号発刊 ※関市立図書館協議会により年4回
	9月	図書館充実のための献本運動(寄贈 4,553冊 その他古文書、図書券、現金など) 蔵書 約30,000冊
	10月	亀山文庫設置 故亀山一二元市長の蔵書寄贈(2,650冊)
昭和57年	5月	関市独立図書館建設促進委員会発足 (自治会、婦人会、PTA、子ども会育成会など各種団体により結成)
	8月	福岡文庫設置 ※故福岡博由前市長の蔵書、寄付金(321冊)
	8月	東部支所(西神野)、西部支所(小屋名)に地域文庫開設
	9月	関市議会へ図書館建設の請願 (関市独立図書館建設促進委員会が市民23,659人の署名を提出)
	12月	関市議会「図書館建設の請願」を全会一致で採択
昭和60年	4月	読書サークル協議会発足
平成元年	10月	移動図書館車「まなび号」2世登場
平成 6年	4月	図書館窓口業務にコンピュータ導入「Fujitsu iLis-X30」
平成 7年	4月	「せき・わかくさ文庫」、重点収集資料の収集開始(円空、刀剣、刃物、惟然、鶴飼)
平成11年	1月	移転準備のため休館(コンピュータへのデータ入力、蔵書の搬出入等のため4ヶ月半)
	3月	図書館システム更新「Fujitsu iLiswing-NX」
	5月	わかくさ・プラザ竣工 ※わかくさプラザ内の図書館に移転 (蔵書 開架100,000冊・閉架書庫100,000冊 計200,000冊)
	7月	開館時間を変更(平日 午前10時～午後8時 土、日、祝日 午前10時～午後5時)
平成12年	12月	視覚障がい者用録音物受発施設の指定を受ける
平成13年	11月	図書館ホームページ開設
平成14年	4月	関市事業としてブックスタート開始。学校との連携としてブックトーク開始
平成15年	1月	車椅子専用のビデオブース新設
平成16年	2月	図書館システム更新「Fujitsu iLiswing21/1UX+」
平成17年	3月	新生関市誕生(武儀郡2町3村が編入合併) ※旧町村の図書館(室)は武儀分館、武芸川分館、洞戸分室、板取分室、上之保分室となる

平成19年	1月 「関市子どもの読書推進計画」策定
	4月 せき・わかくさ文庫重点収集資料に「仙厓」を加える
平成21年	3月 図書館システム更新「Fujitsu iLisfiera」
	4月 <b>関市立図書館(本館)指定管理者制度開始</b> 指定管理者:学校法人岐阜済美学院
	4月 <b>洞戸分室業務委託開始</b> 受託者:ほらどまちづくり委員会
	4月 <b>板取分室業務委託開始</b> 受託者:板取ふれあいのまちづくり推進委員会
	7月 夏休み中の開館時間を30分早めて午前9時30分からとする
平成22年	2月 ブックスタート事業を1歳児健診時に変更
	4月 <b>上之保分室業務委託開始</b> 受託者:上之保ふれあいのまちづくり推進委員会
	6月 AVブース機器6台を液晶モニターに更新
	7月 夏休み中の土日祝日の閉館時間を1時間延長して午後6時とする(午前9時30分～午後6時)
	9月 東部支所を廃止して、新設の富野ふれあいセンターに「ふれあい文庫」を置く
	10月 図書館所蔵DVDの館外貸出を開始
平成23年	3月 図書館ホームページリニューアル
	3月 「地域に光を」交付金にて書架・大型絵本・DVDなどを購入
	4月 <b>武芸川分館業務委託開始</b> 受託者:武芸川まちづくり委員会
	4月 「関学」講座開始
	4月 大型絵本の貸出を開始
	7月 障がい者用機器・資料一式を日本テレビ「愛は地球を救う」より受贈
	10月 電子書籍(NetLibrary、電子図鑑)の貸出を本格的に開始
平成24年	1月 関市市民モニター図書館視察
	2月 入館者管理システム「パッサーネット」を設置
	3月 セルフ貸出機1台設置
	<b>関市立図書館(本館) 第2次指定管理開始</b> (平成24年4月～平成27年3月)
	4月 <b>第4金曜日の整理休館日を開館とする(全館)</b>
	4月 学校への特別団体貸出開始
	5月 古本まつり
	9月 閉館後の図書館内でコンサート
	9月 清流国体のため臨時休館(9月30日～10月2日)
	9月 インターネット予約によるふれあいセンター受取個人貸出サービスの試行開始
	10月 「関音訳の会しおん」野間読書推進賞受賞
	11月 「秋の古本まつり」※今回から年2回開催となった
	12月 広瀬惟然作の掛軸を関市民より受贈
平成25年	2月 書架案内版を更新(開架書架狭隘のため図書を地下書庫に大移動)
	3月 電子書籍端末 kobo touch を楽天から関市に寄贈(うち100台を図書館へ)
	4月 祝日の翌日を開館とする(本館のみ)
	4月 <b>武儀分館業務委託開始</b> 受託者:特定非営利活動法人日本平成村
	4月 毎月第3日曜日を関市「読書の日」に制定(図書館では「本・ビンゴ」開催、絵本リスト発行)
4月～8月	電子書籍端末を20台ずつ「読書の日」に貸出開始 (アンケートにより選書後、図書館でダウンロードして貸出)
	5月 読書サークル協議会総会にて「関市長を囲んでわいわい会議」開催
	5月 春の古本まつり
	10月 秋の古本まつり(10冊制限をなくす)

平成26年	2月	ひかり製作所寄付金による購入図書受入(のりもの)	
	3月	図書館システム更新「Fujitsu WebiLis Ver2」※クラウド導入	
	3月	図書館ホームページリニューアル「Fujitsu U-finity」	
	4月	「子どもの読書推進活動優秀図書館」文部科学大臣賞受賞	
	6月	「せき読書」活動記録発行	
	7月	読書手帳を配布開始(ボランティア手づくり)	
	10月	「かみふうせん」日本図書館協会より感謝状授与	
	10月～12月	外部との共催連続講座(3回)	
	11月	図書館内でWi-Fi利用可能となる	
	12月	ひかり製作所寄付金による購入図書受入(学校)	
	平成27年	3月	関市で「ほんのいっせき」開催
		3月	「絵本100選」の一括冊子を発行
4月		<b>関市立図書館(本館) 第3次指定管理開始</b> (平成27年4月～平成32年3月)	
4月		洞戸分室業務受託者名変更:ほらど未来まちづくり委員会	
4月		雑誌スポンサー制度開始	
4月		読書手帳正式版発行	
4月		国立国会図書館デジタル送信サービス開始	
4月		「中濃ライブラリー」より映像資料一式を移管受入	
4月		「関の職人シリーズ」講座開始	
5月		「かみふうせん」活動記録発行	
5月		「読み聞かせお勧め30選」の一括冊子を発行	
6月		図書館内で「桃紅美術館」の出張展示開催	
10月～1月		外部との共催連続講座(3回)	
12月		ひかり製作所寄付金による購入図書受入(テキスト類)	
平成28年		2月	「いとうひろし」絵本の補助金講座
	3月	第2回関市「ほんのいっせき」協賛	
	4月	障害者用デジタル配信サービス開始	
	5月	「フランス歌曲における惟然の俳句」講座&コンサート	
	5月	おはなし広場「どんぐり」活動記録発行	
	6月	古文書保存活用講座開始(6回)	
	6月	視覚障害者等用データの送信サービスおよび収集開始	
	9月	データベース「官報情報検索サービス」導入	
	11月	コミュニケーションボード設置	
	11月	障害者個人貸出登録申請書の導入	
	10月	日販名古屋支店廃業に伴い、トーハンマーク導入	
	10月～1月	外部との共催連続講座(1回)	
平成29年	2月	ひかり製作所寄付金による購入図書受入(英語多読)	
	3月	関市読書推進実行委員会主催「まちかどイベント」協力	
	4月	子どもの夢を育む講座開催(年7回)	
	4月	文書整理ボランティア研修開始(4月～12月)	
	6月	日経テレコンデータベース導入	
	8月	「子ども図書館員をやってみよう」の実施(全4回)	

平成30年	1月	文書整理ボランティア活動開始
	2月	電子図書館オープン(1月 電子図書館プレオープン)
	3月	関市主催「VOICE・FES」にて電子図書館イベント開催
	8月	岐阜県学校図書館研究大会にて関市立図書館の概要説明およびブックトーク実演
	8月	子どものサマーライブラリー開催
	9月	富岡ふれあいセンター新設、「ふれあい文庫」を置く
平成31年 (令和元年)	11月	「関音訳の会しおん」緑綬褒章受章
	1月	図書館システム更新「Fujitsu WebiLis Ver3」
	7月	学校電子図書館開設
令和2年	12月	わかくさ・プラザ20周年記念として古地図の展示及び講座「古地図から見えてくる災害の歴史」開催 ※文化財保護センターと連携
	1月	利用者カード新デザインにリニューアル(はもみん)
	2月	「ビジネス支援サポート」の常設展示開始 ※関市ビジネスサポートセンター(セキビズ)」と連携
	3月	「読み聞かせおすすめ集 2」の冊子を発行
	3月	「関市立図書館所蔵文書目録(元農協倉庫保管文書、上白金文書、旧町村絵図地図)」の冊子を発行 ※文化財保護センターと連携
	4月	<b>関市立図書館(本館) 第4次指定管理開始</b> (令和2年4月～令和7年3月) 指定管理者:学校法人岐阜済美学院
令和3年	4月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館(4月18日～4月30日)
	12月～1月	関市制70周年・合併15周年記念として「高校生が語る関の歴史」(12月19日)、企画展「古地図をたどる関市のあゆみ」(12月12日～1月24日)講演会「絵図・地図から読む関のまち」(1月23日)開催 ※文化財保護センターと連携
令和4年	2月	本の消毒器設置
	5月～6月	電子図書館のID・パスワードを関市内小・中学校の児童生徒と職員に発行開始 リニューアル工事による臨時休館(6月5日～6月20日)
	10月～11月	リニューアル工事による臨時休館(10月1日～11月30日) 本館サイン(見出し)計画見直し(ピクトグラム採用)
令和5年	11月	関市図書館のゆるキャラ制定
	12月	リニューアル工事完了
	3月	全健総連岐阜建労関総支部より、机10台、本棚2台、イーゼル5台が寄贈 株式会社 野田建設より、机カバーが寄贈
	4月	関市立図書館多目的室オープン(4月29日)「東京フィルハーモニー」記念公演
	5月	関市図書館のロゴ制定とゆるキャラの名前決定 新型コロナウイルスの5類移行により館内の感染予防対策を緩和 小学校社会科副読本「伸びゆくまち関市」のデジタル版を電子図書館で公開
令和6年	8月	関市立図書館多目的室の愛称「森のはなれ」に決定 電子図書館のID・パスワードを関市内全小・中学校の児童生徒と職員に発行完了
	11月	Library Move Forward 2023(メディアドゥ株式会社主催)において、関市立電子図書館が利用率第1位(人口6～10万人未満部門)と全体特別賞のダブル受賞
令和6年	2月	図書館システム更新「Fujitsu WebiLis Ver4」 図書館ホームページリニューアル

## 施設概要・組織

### 関市役所協働推進部 — 生涯学習課 — 関市立図書館

**本館** 501-3802 関市若草通2丁目1番地 わかくさ・プラザ学習情報館1階  
図書館面積：2,456.3㎡(1階 1,958㎡、地下2層497㎡)  
うち 図書館多目的室(森のはなれ)223.9㎡  
座席数：通常時209席(うち 図書館多目的室(森のはなれ)49席)  
指定管理者：学校法人岐阜済美学院  
職員：常勤13名、非常勤(週5～24時間)17名 うち司書19名  
開館時間：火曜日～金曜日 10:00～20:00 土・日・祝日 10:00～17:00  
貸出規則：図書3週間、視聴覚資料・雑誌1週間 合計10点  
コレクション：「刀剣」「刃物」「円空」「惟然」「仙厓」

**武儀分館** 501-3501 関市富之保2001-1 武儀生涯学習センター内 図書館面積:711㎡  
管理受託者：特定非営利活動法人日本平成村 職員：常勤兼務職員 2名(うち司書1名)  
開館時間：10:00～18:00

**武芸川分館** 501-2602 関市武芸川町小知野779-1 武芸川生涯学習センター内  
図書館面積：242㎡  
管理受託者：武芸川まちづくり委員会 職員：非常勤職員(週15時間)3名  
開館時間：9:00～17:00

**洞戸分室** 501-2812 関市洞戸市場294番地5 洞戸ふれあいセンター内 図書館面積:69㎡  
管理受託者：ほらど未来まちづくり委員会 職員：非常勤兼務職員1名  
開館時間：9:00～17:00

**板取分室** 501-2901 関市板取1643番地17 板取生涯学習センター内 図書館面積:56㎡  
管理受託者：板取ふれあいのまちづくり推進委員会 職員：非常勤兼務職員1名

**上之保分室** 501-3601 関市上之保15110-1 上之保生涯学習センター内 図書館面積:150㎡  
管理受託者：上之保ふれあいのまちづくり推進委員会 職員：非常勤兼務職員1名  
開館時間：9:00～17:00

### ふれあい文庫

西部、旭ヶ丘、桜ヶ丘、田原、倉知、下有知、安桜、富野、鮎之瀬、富岡、各ふれあいセンター  
管理受託者：各地域のまちづくり委員会、自治会